

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。若葉が薫る頃となりましたが、いかがお過ごしですか。プロ野球ロケット佐々木朗希投手の活躍が話題になっております。

日本プロ野球記録となる13者連続奪三振、1試合19奪三振の記録保持者、令和初および2022年現在の現役選手唯一の日本プロ野球公式戦における完全試合達成者と久々に明るい話題に心が弾みました。五月晴れの空のように皆様のお気持ちが晴やかでありますようお願い申し上げます。

サンライズの物語

自分自身だったら——

人生の最後について考える物語



その方は、末期の膵臓癌に罹患し退院した方でした。女手一つで一人息子を育て70歳まで仕事に従事し昨年体調不良で入院後診断された方でした。

最後まで自宅で過ごしたいというのが、ご本人様の意思でした。

息子さんが仕事をしながらお母様を看っていたのですが日増しに体力が低下し食欲もなくなってきたのですが、ご本人様の気力が強くトイレまで移動していたのです。

担当のヘルパーには「自分はこの家で最後まで過ごす。息子には感謝している。思い残すことはない」と話されていたそうです。

息を引き取る当日、訪問すると虫の息でも弱音を吐くこともなく病と闘っていたのです。隣で泣き続ける息子さんに「最後まで安心できる声掛けをお願いしますね」というのが精一杯で涙が零れてきました。

何度も人生の最後に立ち会いましたが、その都度思うことは自分自身だったら弱音を吐かずに幕を引けるのだろうか・・・

誰も避けることのできない人生の最後に思うことや見る景色はどんな景色だろうと思いを馳せるばかりです。

サンライズのデイサービス陽光だより



サクラの花見で外出レク
天気も良く近くの公園に
お花見に行きました。
皆さん「すごく綺麗ね～」
と言われ喜んでいました。



新しい仲間が増えました！



【介護職員】森尚美

1月から勤務しております。
夢にときめけ 明日にきらめけ 元気モリモリ頑張ります！
よろしくをお願いします。



井上から
エール！

利用者様皆様への気遣いや対応が素晴らしく
今後の活躍に期待しております。

NEWS 今月のニュース

64歳 介護士国家資格 現場で働く傍ら「利用者のため…」挑み

高齢者向けのリハビリ施設「てまりフィットネス」（野々市市高橋町）で利用者の運動の補助や送迎ドライバーとして働く近吉（ちかよし）務さん（金沢市上荒屋）が、六十四歳で介護福祉士の国家試験に合格した。五十代後半から介護の業界に飛び込み、働きながら試験を突破した近吉さんは「介護現場で働く同年代の人の励みにもなれば」と話している。（青山尚樹）

近吉さんは約三十年間、東京と金沢で衣料関係の会社の営業をしていたが、当時勤めていた会社が倒産。知り合いから誘われ、約一年間内灘町の介護施設で働き、二〇一七年から現在の職場でドライバーとして働いている。利用者の送迎だけでなく、

運動の手助けや体調管理も行っている。

介護の現場で働くうち、もっと専門知識を身に付け、利用者が元気になるってほしいと思い、国家資格への挑戦を決意。昨年の夏ごろから勉強を始めた。暗記したこともすぐに忘れてしまい「こんな年だし受からない」と思う時もあったが、仕事をしながら休日に実務者研修を受け、毎週約二十時間の勉強を続けた。筆記試験が一月にあり、三月下旬に結果が発表された。全国の合格率は72・3%で、合格者全体のうち六十一歳以上の合格者は3・7%だった。

もともと話すのが大好きな近吉さん。営業職で長年培ってきた明るい話し方もあり、利用者からの人気も高いという。施設利用者の水上郁子さん（82）は「明るくて、雰囲気

を和ませてくれる。いつも会うのが楽しみ」と話す。

今後は利用者の相談に乗るなど、より専門的な関わりをしていくつもりだ。近吉さんは「学んだことを生かし、利用者の方たちに安心感を与えられる介護のスペシャリストになりたい」と意気込む。



利用者と笑顔で話しながら運動の手助けをする近吉務さん
（左）＝野々市市高橋町で

<中日新聞 2022/4/22(金)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>